

平成22年度真室川町決算報告

— 町の財政を見てみよう —

平成22年度決算が9月の定例町議会において議決されました。

町民の皆さんが納めた税金や国・県からの補助金等がどのように使われたかなど、町の財政状況を公表します。

平成22年度決算の概要

平成22年度の支出総額は7億5,153万円（一般会計5億2,789万円、特別会計1億8,440万円、公営企業会計1億5,716万円）で、21年度決算総額8億4,557万円に比べ、6.6%減少しました。

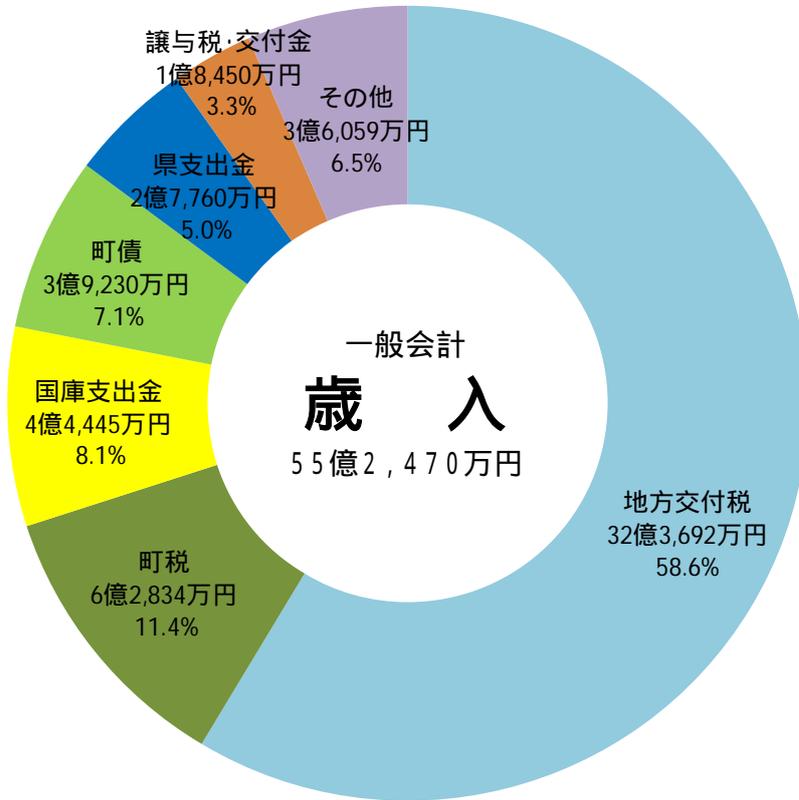
一般会計においては、国の経済対策関連各種交付金事業の減少や定額給付金の終了、町営住宅整備及び町民球場リニューアル事業などの大型投資的事業の完了等により歳入・歳出とも大幅に減少しました。特別会計においては、老人保健制度廃止に伴う事業規模の縮小、公営企業会計においては、病院事業会計が患者数減少による影響等で減少となり、また、公共下水道事業特別会計においては、整備率の進捗に伴う事業費の減少があり、全会計総計として大幅な減少となっています。

(単位:円)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引残額
一般会計		5,524,703,226	5,278,920,171	245,783,055
特別会計	国民健康保険特別会計	34,371,944	33,642,504	729,440
	後期高齢者医療特別会計	89,378,091	88,829,458	548,633
	老人保健特別会計	1,511,869	1,511,869	0
	介護保険特別会計	887,210,587	876,860,575	10,350,012
特別会計 小計		1,012,472,491	1,000,844,406	11,628,085
公営企業会計	町立真室川病院事業会計	1,053,925,658	1,054,270,135	344,477
	水道事業特別会計	272,359,110	267,068,899	5,290,211
	公共下水道事業特別会計	156,108,498	155,449,510	658,988
	まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	95,591,045	94,975,703	615,342
公営企業会計 小計		1,577,984,311	1,571,764,247	6,220,064
総計		8,115,160,028	7,851,528,824	263,631,204

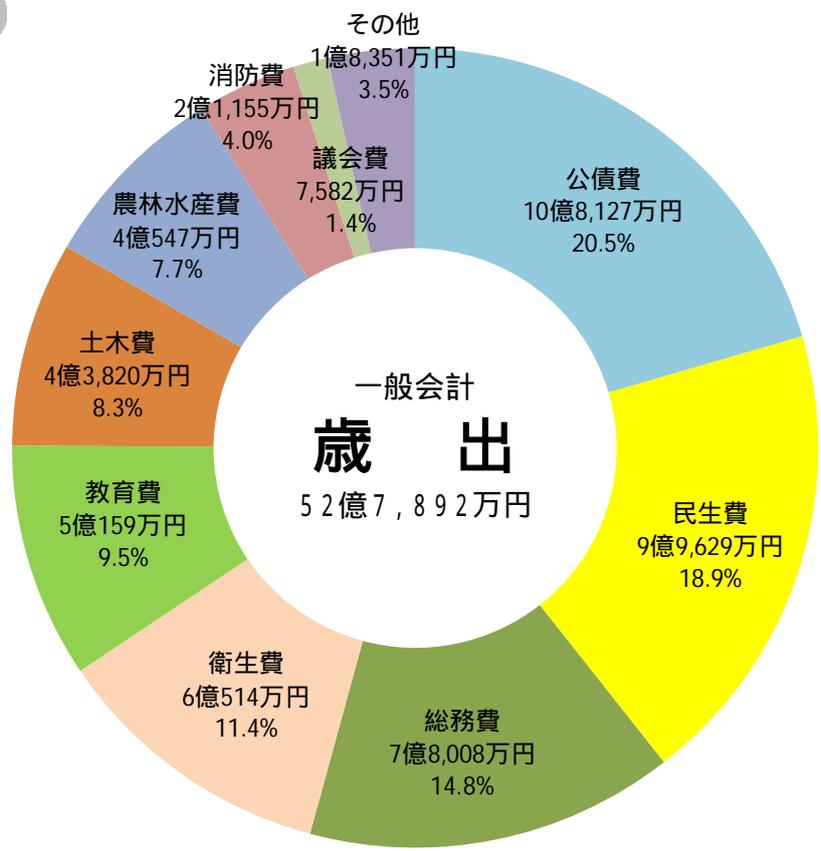
一般会計

歳入



地方交付税	国税五税(所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税)の一部から分配されたお金	32億3,692万円
町税	町民税・固定資産税など皆さんが納めた税金	6億2,834万円
国庫支出金	国の補助事業等に伴う財源	4億4,445万円
町債	町が事業を実施するために国等から借りたお金	3億9,230万円
県支出金	県の補助事業等に伴う財源	2億7,760万円
譲与税・交付金	国・県が徴収した税等から分配されたお金	1億8,450万円
その他	分担金・使用料・繰越金など	3億6,059万円

歳 出



公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用	10億8,127万円
民生費	高齢者、障がい者、児童福祉、生活保護等に要する経費	9億9,629万円
総務費	財産管理、戸籍、徴税、選挙、電算運営等に要する経費	7億8,008万円
衛生費	ごみ処理、保健衛生等の経費	6億 514万円
教育費	学校教育、社会学習の振興等に要する経費	5億 159万円
土木費	道路、河川、橋梁、公園、住宅等の整備に要する経費	4億3,820万円
農林水産業費	農林水産業の振興に要する経費	4億 547万円
消防費	消防活動、災害対策等に要する経費	2億1,155万円
議会費	議会の活動に要する経費	7,582万円
その他	商工費、労働費、災害復旧費など	1億8,351万円

町民1人当たりの町税負担額（一般会計）

1. 固定資産税	321,932千円 / 9,184人 =	3万5,053円
2. 町民税	239,333千円 / 9,184人 =	2万6,060円
3. 町たばこ税	37,938千円 / 9,184人 =	4,131円
4. 都市計画税	8,679千円 / 9,184人 =	945円
5. 軽自動車税ほか	20,454千円 / 9,184人 =	2,227円

町民1人当たりの税負担額は **68,416円** となっています

町民1人当たりの行政経費（一般会計）

1. 公債費（町が借りたお金を返すために）	11万7,734円
2. 民生費（高齢者・障がい者福祉、保育費などに）	10万8,482円
3. 総務費（財産管理、戸籍・税・選挙経費、IT推進などに）	8万4,939円
4. 衛生費（保健やゴミの処理などに）	6万5,890円
5. 教育費（学校や社会教育に）	5万4,616円
6. 土木費（道路や公園などの整備に）	4万7,713円
7. 農林水産費（農林水産の振興に）	4万4,149円
8. 消防費（消防活動などに）	2万3,035円
9. 議会費（議会の運営に）	8,256円
10. その他（商工労働費や災害復旧経費などに）	1万9,981円

町民1人当たりの行政経費は **57万4,795円** となっています

(= 歳出総額 52億7,892万円 / 9,184人)

○ 町民1人当たりの金額 = その年度の各総額 / 年度末の人口 9,184人（22年度末）で算出しています。

平成 22 年度実施の主要事業と決算額（一般会計・病院会計・水道会計・下水道会計）

1. 保健・福祉・医療体制の充実			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
福祉課	健康増進事業	各種健診や健康相談などを実施し、生活習慣病予防に努めました。また、若年層の健診やがん検診への助成拡大、日曜検診の実施などで受診率向上を図りました。	13,497
福祉課	予防接種事業	子どもの各種予防接種無料化や高齢者のインフルエンザ予防接種、肺炎球菌予防接種を助成するなど、感染症蔓延防止に努めました。	8,721
建設課	介護老人保健施設誘致対策事業	介護老人保健施設の誘致対策として、排水路整備や町道改良等を行ないました。	52,216
2. 教育・スポーツの振興			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
教育課	学校教育指導主幹・学習指導員配置事業	学校教育指導主幹を配置し、学力向上や生徒指導等学校教育の充実を図りました。また、個別支援の必要な学級に学習指導員等を配置し、個々に応じたきめ細やかな学習や生活指導を実施しました。	11,943
教育課	学力向上対策事業	基本的な生活習慣の育成を基盤として、9年間を見通した小中連携教育のもと、児童生徒の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行い、心豊かでたくましい子どもの育成と、確かな学力の定着を図りました。	6,215
教育課	社会教育指導員活動事業	社会教育団体の育成・強化や、図書の有効活用や家庭教育へのアドバイス等を行い、生涯学習の充実を図りました。	4,026
教育課	秋山スキー大会	戦前より続く全国的にも歴史の長いスキー大会です。第70会の節目の大会として、これまで大会に対して功績のあった方々の表彰なども実施しました。	1,266

3．産業の振興			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
産業課	活力ある園芸産地創出支援事業	園芸産地活性化と算出額増大を図るため、重点振興品目生産用設備・機械の導入事業に対し助成しました。	28,076
産業課	畜産担い手育成総合整備事業	畜産経営担い手農家が経営拡大のため草地基盤や畜舎整備等を行っています。また、事業参加農家と一体的に、秋山牧場機能強化のための草地拡張や畜舎整備等を行っています。	75,286
産業課	特別栽培米等産地化支援事業	特別栽培米及び有機栽培米の産地形成に資することを目的に、町農協が実施する事業に助成しました。	8,877
産業課	農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業	農林業者等が現場の視点で策定した創意工夫に富んだプロジェクト計画実現にむけ支援し、農林水産業を起点とした産出額の増大を図りました。	29,215
4．真室川ブランドの開発			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
産業課	真室川ブランド推進事業	ブランド認定品を中心とした商品の販路拡大、新商品・産品開発支援、伝承野菜の普及特産品化、真室川ファン拡大のための交流開発に取り組みました。	3,143
産業課	地域資源利活用促進事業	器づくり・米パン開発活動への支援を行ない、「真室川逸品展」「食の文化祭」を開催しました。	1,207

5．子育て支援・少子高齢化対策			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
町民課	子育て支援医療給付事業	小学校終了までの子どもの医療費を実質的に無料化しました。	1,085
福祉課	母子保健衛生事業	母子保健法に基づく各種健康診査を実施しました。また、妊婦健診に対し補助を行ないました。	3,327
福祉課	認定こども園支援事業	たんぼぼこども園への保育士派遣を継続しました。また、子育て支援センター事業を委託するとともに、安定した財政運営が行なわれるよう支援を行ないました。	79,895
6．危機管理対策			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
総務課	防災放送システム整備事業	平成23年度の運用開始を目標に防災放送システムの整備を行なっています。22年度は設計を行ないました。	2,994
総務課	東日本大震災関係経費	3.11発生の東日本大震災に災害対策本部を設置し対応しました。また、被災地への支援等を行ないました。	4,932
7．雇用促進対策			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
企画課	緊急雇用創出事業	離職者に、町有施設維持管理業務や不法投棄対策業務などの臨時的・一時的な就業の機会を提供しました。	15,685
企画課	ふるさと雇用再生特別基金事業	安定的な雇用機会を創出する取り組みを支援するため、町有林の間伐業務などを民間企業等に委託しました。	11,067
企画課	産業振興条例に基づく助成事業	町民の雇用の機会拡大、または、新たに事業拡大のために設備投資した事業所に対し、産業振興条例に基づき奨励金を交付しました。	1,672

8．生活・環境対策			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
企画課	辺地共聴施設整備事業	共聴施設の改修や新設を行ない、地デジ放送に対応できるようにしました。	23,626
建設課	まちづくり交付金事業	真室川駅周辺を中心街の賑わい創出とくらし向上の実現を目的に5カ年計画でまちづくり交付金事業を実施しています。 22年度は、駅東広場整備、商業活性化支援事業等を実施しました。	5,620
町民課	環境保全事業	水環境を中心とした生活環境保全対策を実施しました。	658
町民課	エクセルギータウン推進事業	地球温暖化防止対策を実施しました。	6,132
建設課	石綿セメント管更新事業	老朽化が目立つ石綿セメント管の布設替工事を木ノ下地区で実施しました。	25,512
建設課	及位統合簡易水道整備事業	平成14年度から取り組んでいる統合簡易水道事業では、配水管布設工事を実施しました。	122,096
建設課	公共下水道整備事業	平成10年から着手している公共下水道事業は、計画区域内において、約8割の整備率となっています。	78,381
9．その他			
担当	事業名等	事業概要	22年度決算額 (千円)
共通	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業	安全・安心なくらしの実現・確保対策として、廃校舎の解体等を実施しました。	17,769
共通	地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業	国の緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備事業として、町道や排水路の整備、公共施設等の整備等を行ないました。	109,226
共通	地域活性化交付金事業	地域の活性化ニーズに応じたきめ細かな事業として、生活排水路の整備や公共施設の改修、児童養護施設改築事業の支援を行ないました。	19,208